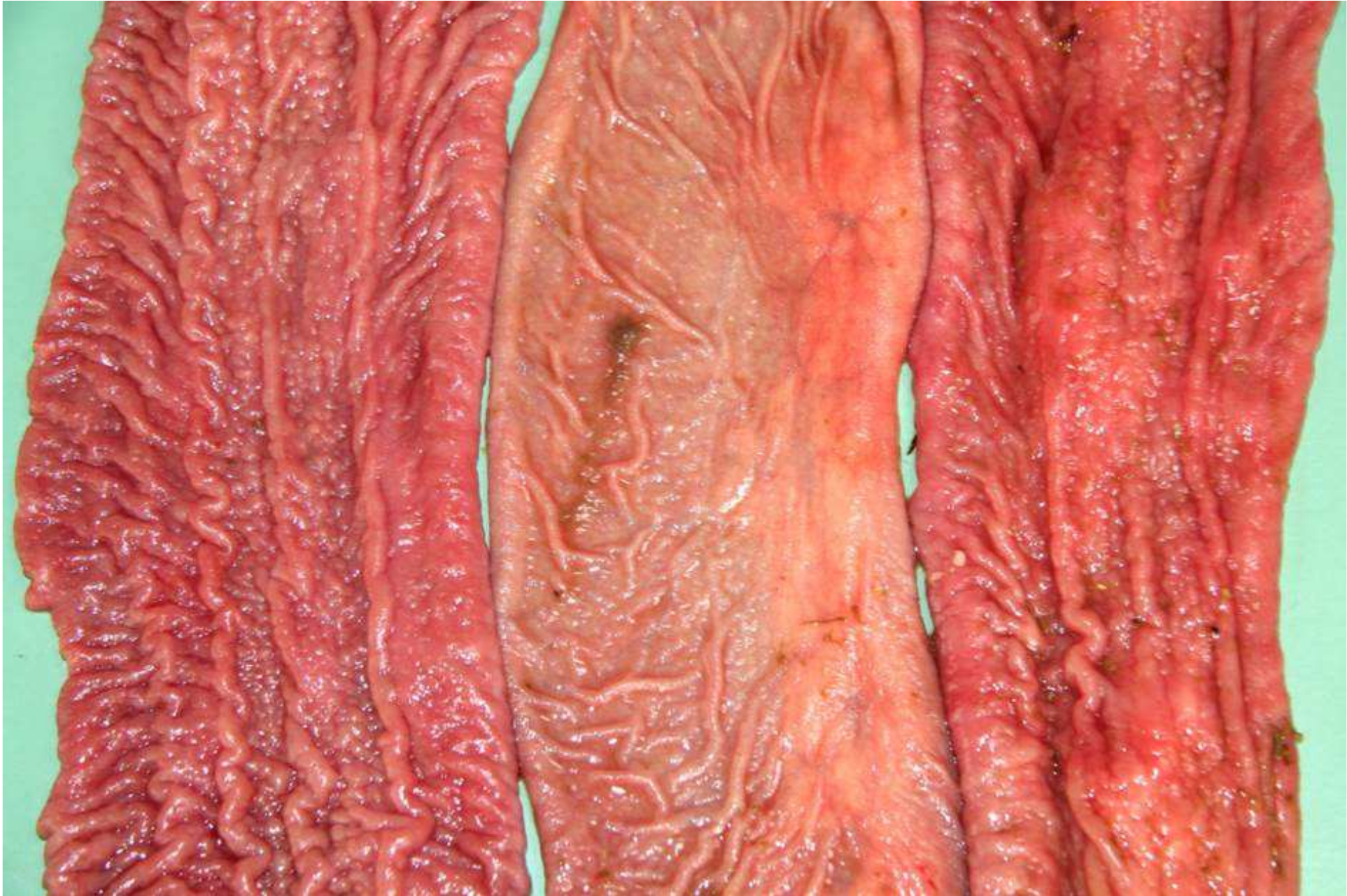


# 2017-10-1 牛、小腸 原田奈美香

- 提出機関：University of Berne, Switzerland
  - 症例：牛、アバディーン・アンガス種、3.5才
  - 病歴：
    - ・ 6頭中1頭で、慢性多量の下痢、削瘦
    - ・ 糞便検査
      - 抗酸性桿菌；陽性
      - サルモネラ菌；陰性
- ヨーネ病を疑い、安楽殺・解剖





# 検査結果

## ● 血液検査

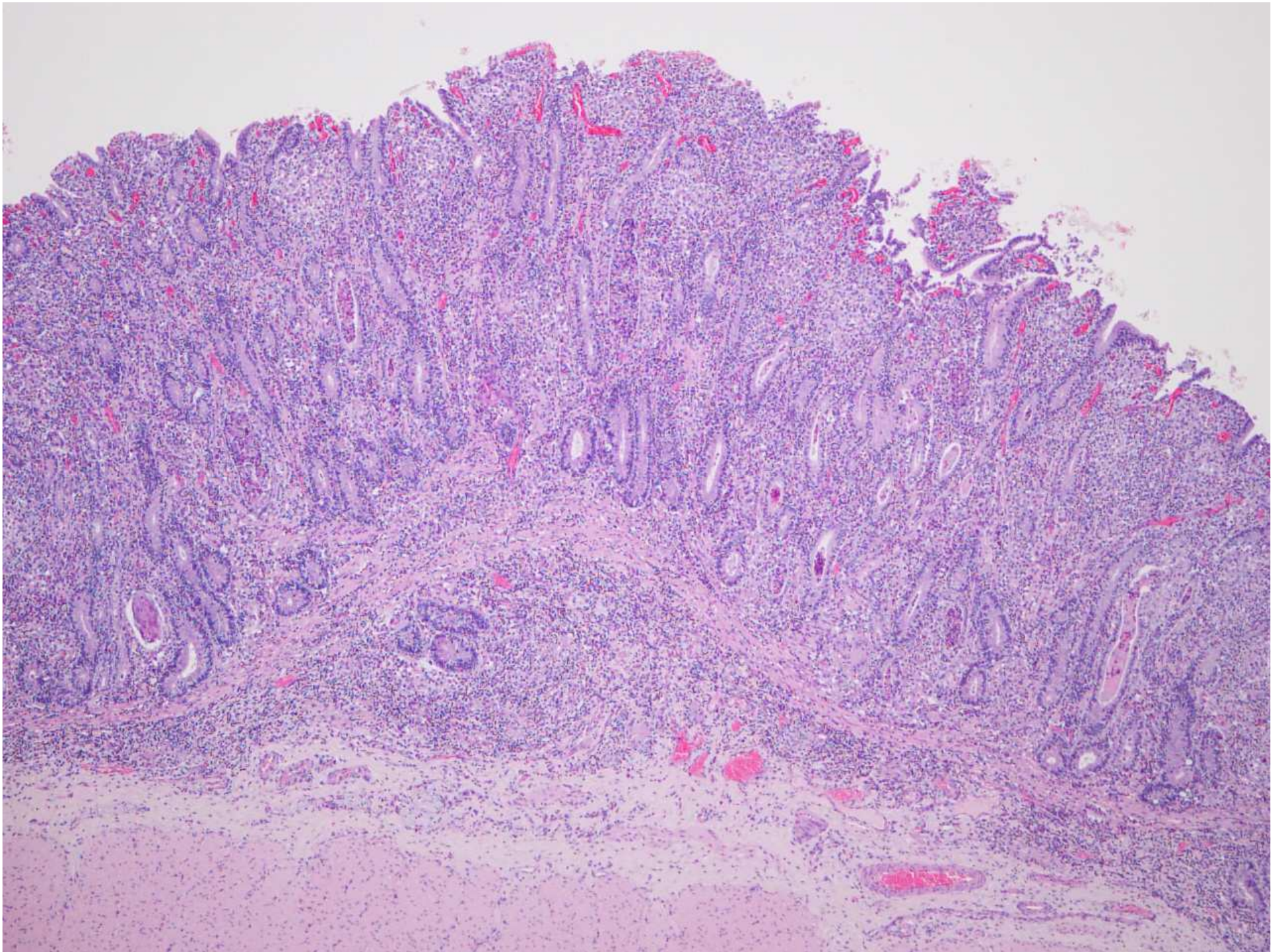
好中球(Band)	0.54	10 <sup>9</sup> /l	↑
(Seg)	6.25	10 <sup>9</sup> /l	↑
リンパ球	2.05	10 <sup>9</sup> /l	
単球	0.93	10 <sup>9</sup> /l	↑
好酸球	0.00	10 <sup>9</sup> /l	

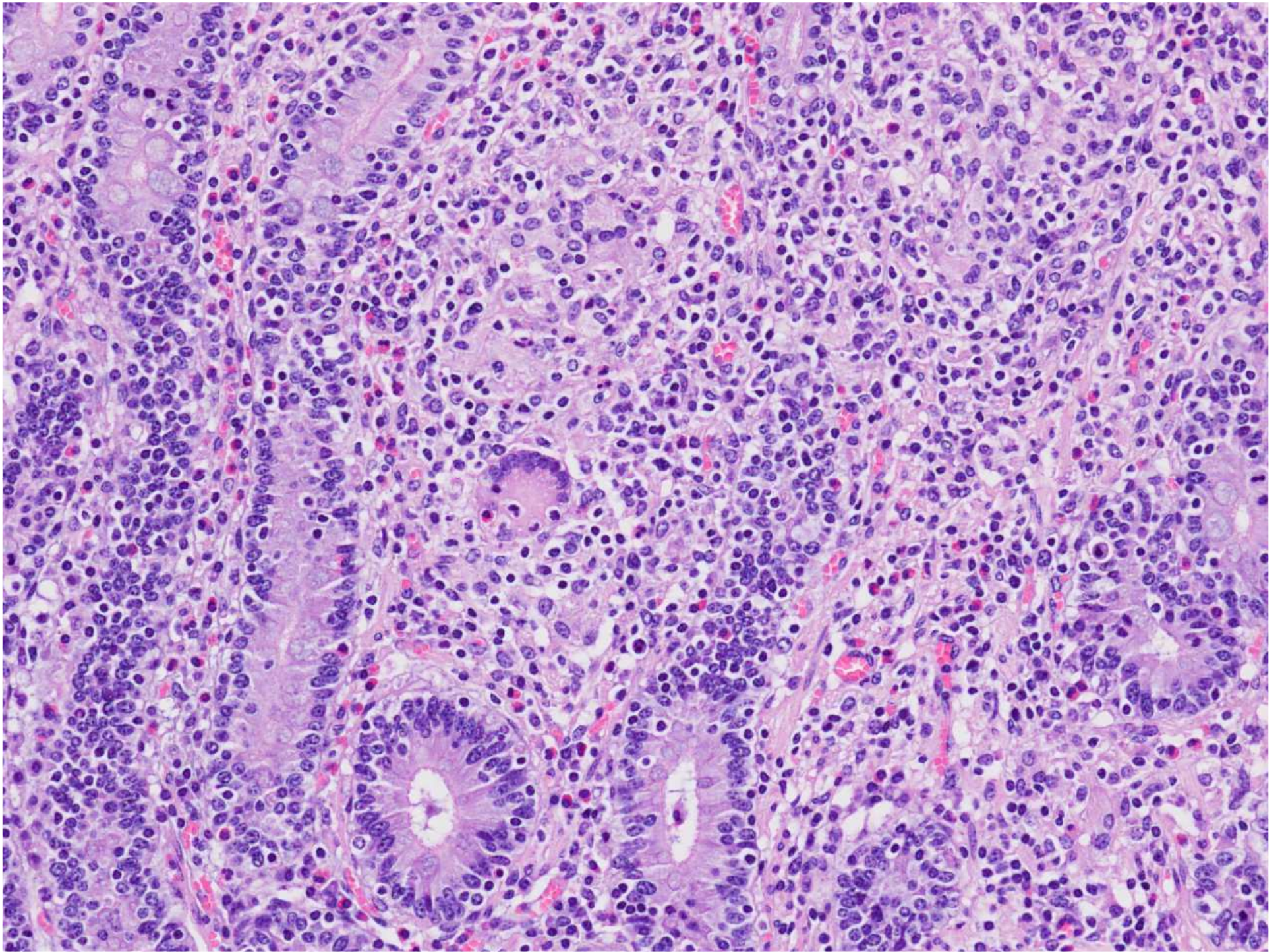
## ● 血液生化学検査

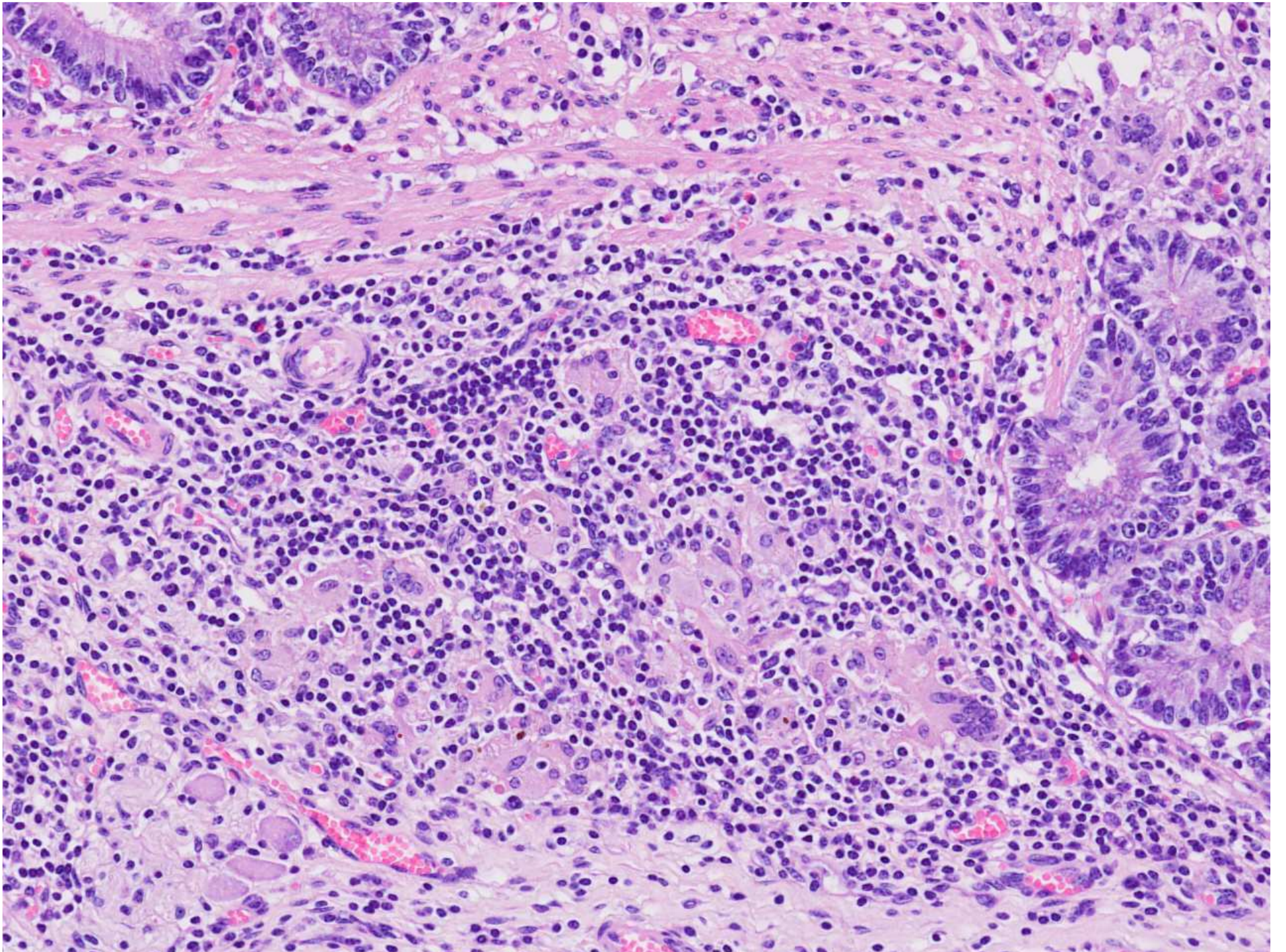
Na	116	mmol/l	
K	1.50	mmol/l	↓
Cl	68	mmol/l	
BUN	23.99	mmol/l	↑
Cre	183	μmol/l	↑
Bill	23.0	μmol/l	↑
SGOT	79	IU	↓
GGT	67	IU	↑
GLDH	46	IU	↑

## ● 抗体検査

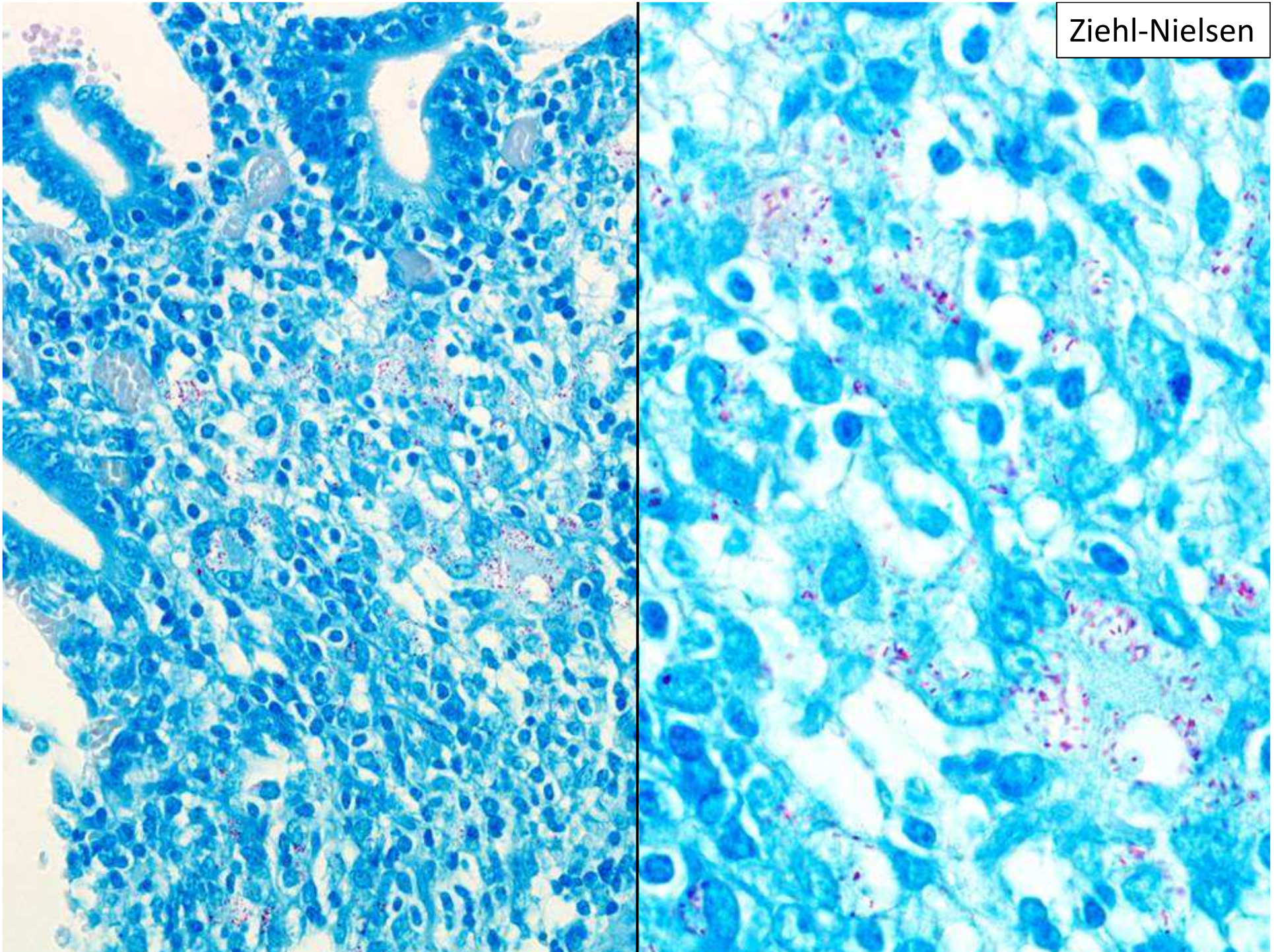
牛ウイルス性下痢ウイルス病：陰性  
(スイス撲滅プログラム中)



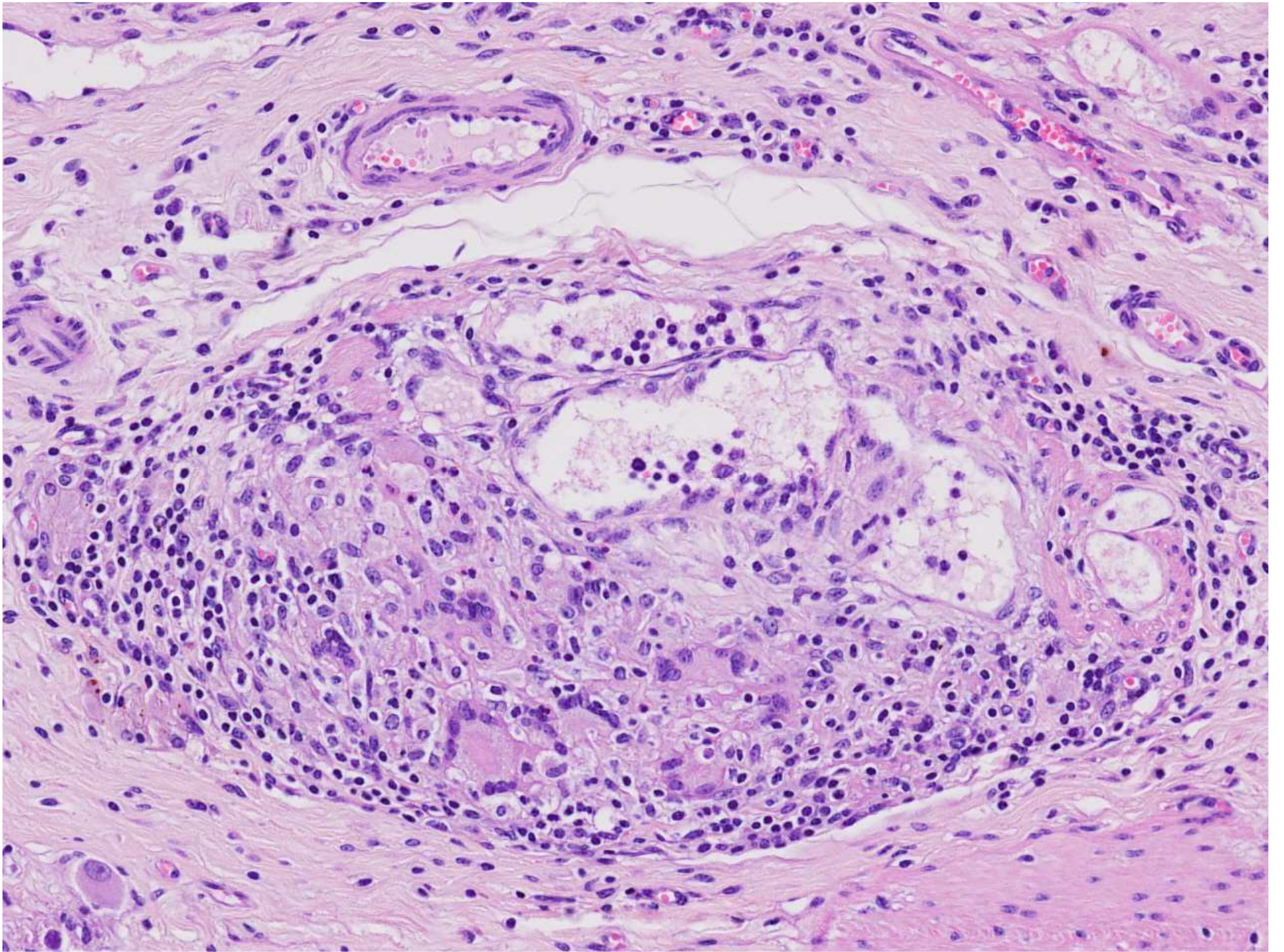


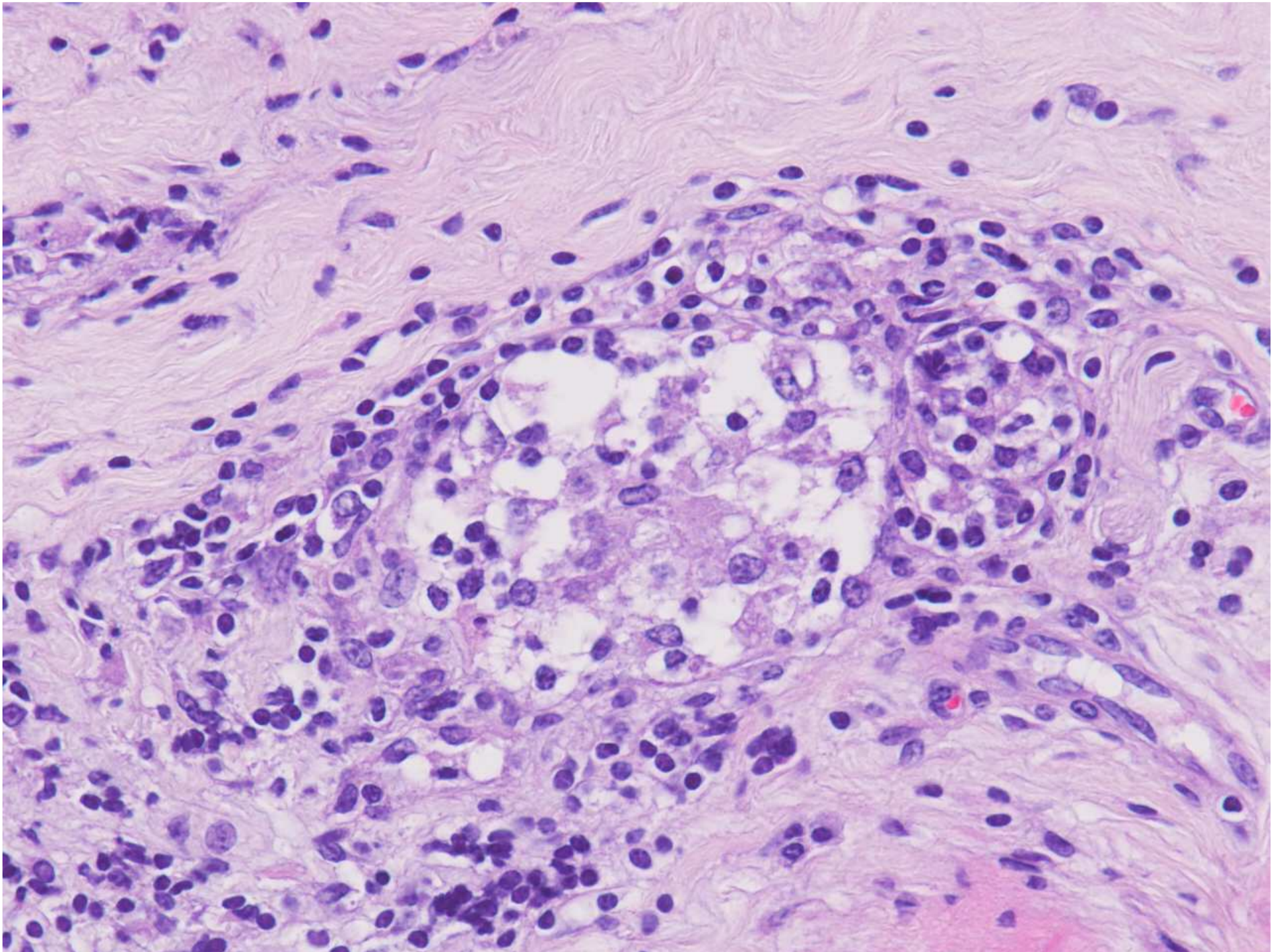


Ziehl-Nielsen









## ➤ 提出者の診断

小腸：多核巨細胞を伴う肉芽腫性腸炎およびリンパ管炎。  
び慢性、重度、慢性。

Small intestine: Granulomatous enteritis and lymphangitis with multinucleated giant cells, diffuse, severe, chronic.

## ➤ JPCの診断

小腸：腸炎、肉芽腫性およびリンパ球性、び慢性、著しい。  
絨毛の扁平化、陰窩膿瘍と消失、中程度のリンパ管炎を伴う。

Small intestine: Enteritis, granulomatous and lymphocytic, diffuse, marked with villar blunting, crypt abscessation and loss, and moderate lymphangitis

# 提出者のコメント

- 肉芽腫性炎は十二指腸から結腸まで
  - Ziehl-Neelsen染色で類上皮細胞内に抗酸性桿菌
  - 抗酸性桿菌を伴った軽度な組織球性リンパ節炎
- ➡ 診断：ヨーズ病 / パラ結核

- *Mycobacterium avium* subsp. *paratuberculosis* (Map)
- 反芻動物(羊、ヤギでは軽度)
- 若齢動物(生後30日が感受性高い)に経口的に摂取
- 2-5才で発症
- 腸管を伸ばしても消えない肥厚した粘膜
- 小腸の肉芽腫性腸炎、リンパ節炎
- Map : クローン病 (CD) への関与が疑われている

# 会議のコメント

## ● 免疫応答について

- ・ Th2による液性免疫を特徴

➡ び慢性の肉芽腫性炎を誘発

cf. Th1による細胞性免疫は結節状の肉芽腫性炎

## ● 炎症性細胞浸潤について

- ・ 肉芽腫性vs.リンパ球形質細胞性vs.組織球性
- ・ 多核巨細胞、類上皮細胞は肉芽腫性炎の過程を示唆

➡ 「肉芽腫性」と標記することを決定

# ヨーネ病について

